

立山町公共交通活性化協議会公式 SNS（X）の開設について

1 趣 旨

当協議会の開催状況、構成員等が行うイベント、取組等の各種情報を広くかつタイムリーに町内外に発信し、公共交通の利用を促進するため、それらのツールの一つとなるXアカウントを開設したものの。

2 概 要

- (1) 開設日 令和7年7月8日（火）
- (2) 更新頻度 適宜
- (3) 投稿実績 35 件（リポスト等を含む。） ※ 令和7年8月26日時点
- (4) ページ画面 以下のとおり



地鉄電車のヒミツ発見！の開催結果について

1 趣 旨

子供たちに鉄道への親しみを感じていただくとともに、この重要性を伝える機会を提供することにより、子供たちの当事者意識の醸成及び鉄道の利用促進につなげることを目的に、イベントを開催したものの。

2 実施概要

- (1) 開催日時 令和 7 年 8 月 6 日（水）
第 1 部 13：30～14：10 第 2 部 14：20～15：00
- (2) 場 所 立山町防災児童館複合施設（アカリエ） 会議室
- (3) 主 催 一般社団法人立山子育て支援センター
- (4) 協 力 富山地方鉄道株式会社、立山町

3 実施結果

- (1) 参加者数 38 人（うち小学生 16 人、未就学児 4 人）
- (2) 当日の様子



4 アンケート結果（n=26）

- | | | |
|--------------|---------|---------|
| (1) 公共交通利用経験 | あり：85% | なし：15% |
| (2) 利用意識への影響 | あり：96% | なし：4% |
| (3) イベント満足度 | 高い：92% | 高くない：8% |
| (4) 次回参加意向 | 積極的：88% | 消極的：12% |

立山駅開業 70 周年記念プロジェクトの結果等について

1 概 要

富山地方鉄道立山線の終着駅かつ立山黒部アルペンルートの玄関口である立山駅が本年 7 月 1 日をもって開業から 70 周年の節目を迎えるに当たり、その歴史を振り返るとともに、重要な観光拠点としての当駅が未来へつながる希望あふれる場所であり続けることを願うプロジェクトとして、クラウドファンディングにて調達した資金を原資に、各種イベントを行うもの。

2 実施結果

(1) クラウドファンディング

〔実施期間〕 令和 7 年 5 月 14 日から同年 6 月 30 日まで

〔実施方法〕 クラウドファンディングとやまを運営する READYFOR 社の Web サイトを活用して実施。

〔目標金額〕 600,000 円

〔支援総額〕 1,890,000 円（達成率：315%）

(2) イベント

8 月 11 日（月・祝）に開催予定であった以下の内容については、**大雨警報発令により全て中止**とし、**改めて 10 月 18 日（土）に、内容を再編した上で開催**することを決定。現在詳細を調整中であり、決定次第、町 HP 等で周知予定。

〔記念ブース〕

- ・ 山の日にあわせ、「たてやまの魅力・地域の魅力」を紹介する記念ブースを出展するもの。

〔地鉄で GO！夏の大冒険！！〕

- ・ 立山駅 70 周年の節目を祝うとともに、公共交通の利用意識の醸成やその重要性の理解促進につなげるため、未来を担う子供たちとその保護者を対象に、ワークショップや記念貸切列車等への乗車等を行うもの。

立山町地域公共交通計画の策定に関する最近の動向について（その3）（本協議会直営事業）

- 公募により住民や関係者を対象として、交通事業を考える「対話会」を実施。
- 鉄道の日などに様々な体験会や講座を開催する「子どもたちに鉄道を知ってもらおう（鉄道の事業）」、A I オンデマンド交通等を活用する「利用者を増やすための取組（バスの事業）」の2つの事業のアイデアを提案。

立山町交通「対話会」 in みらいぶ

対話で築こう、「公共交通」～選ばれ続ける、ちょうどいいまちへ～

日 時

令和7年8月24日（日）

会 場

立山町元気交流ステーションみらいぶイベント広場

参加者

7名（3～4名×2グループ）

概 要

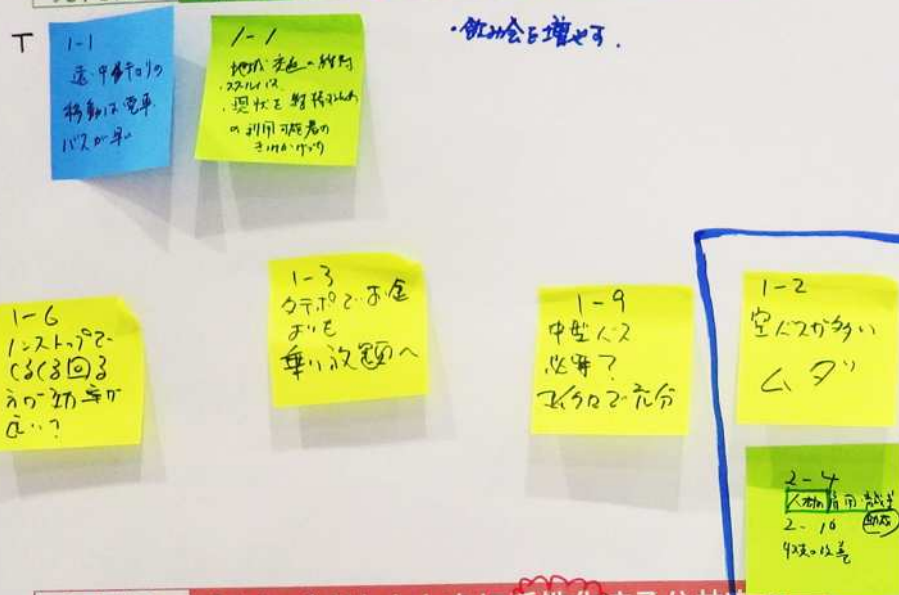
- ・ワークショップ
STEP 1「重要な施策を考えよう！」
STEP 2「住民主体の事業をつくろう！～わたしたちができること～」
- ・グループ発表
- ・イチオシの事業の投票

写 真

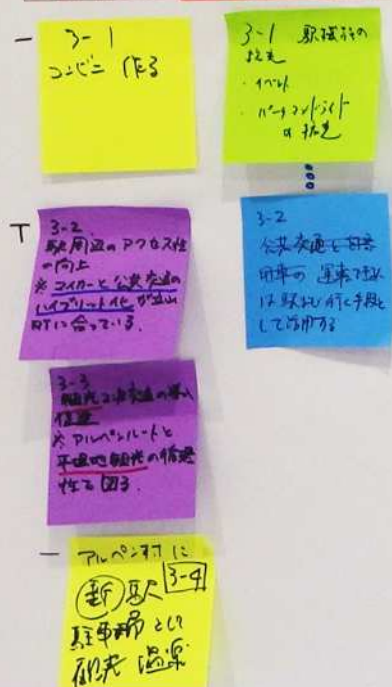


テーマ

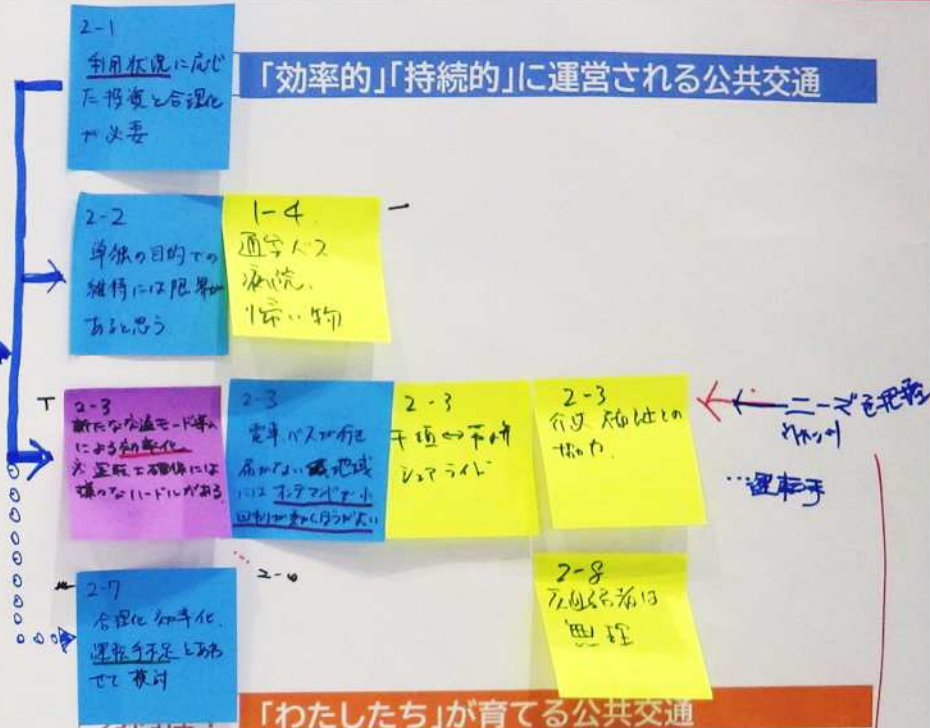
方向性1 「暮らし」や「交流」を支える公共交通



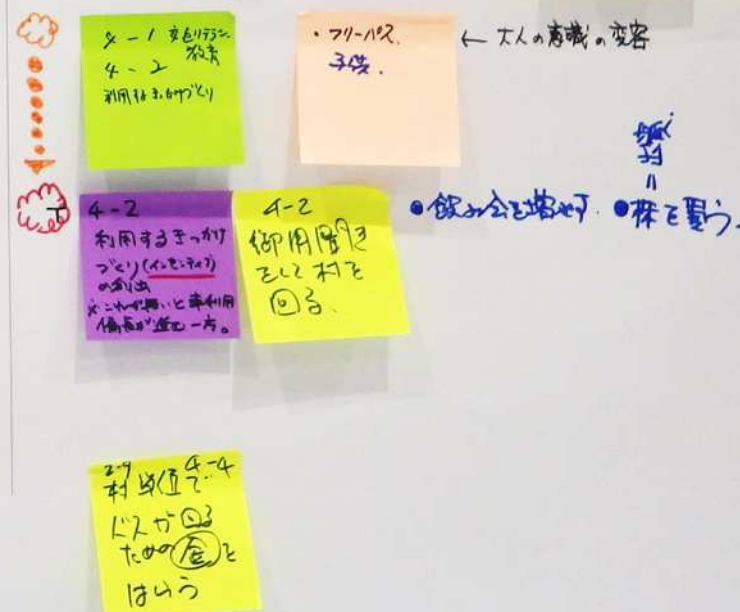
方向性3 「まちづくり」とともに活性化する公共交通



「効率的」「持続的」に運営される公共交通

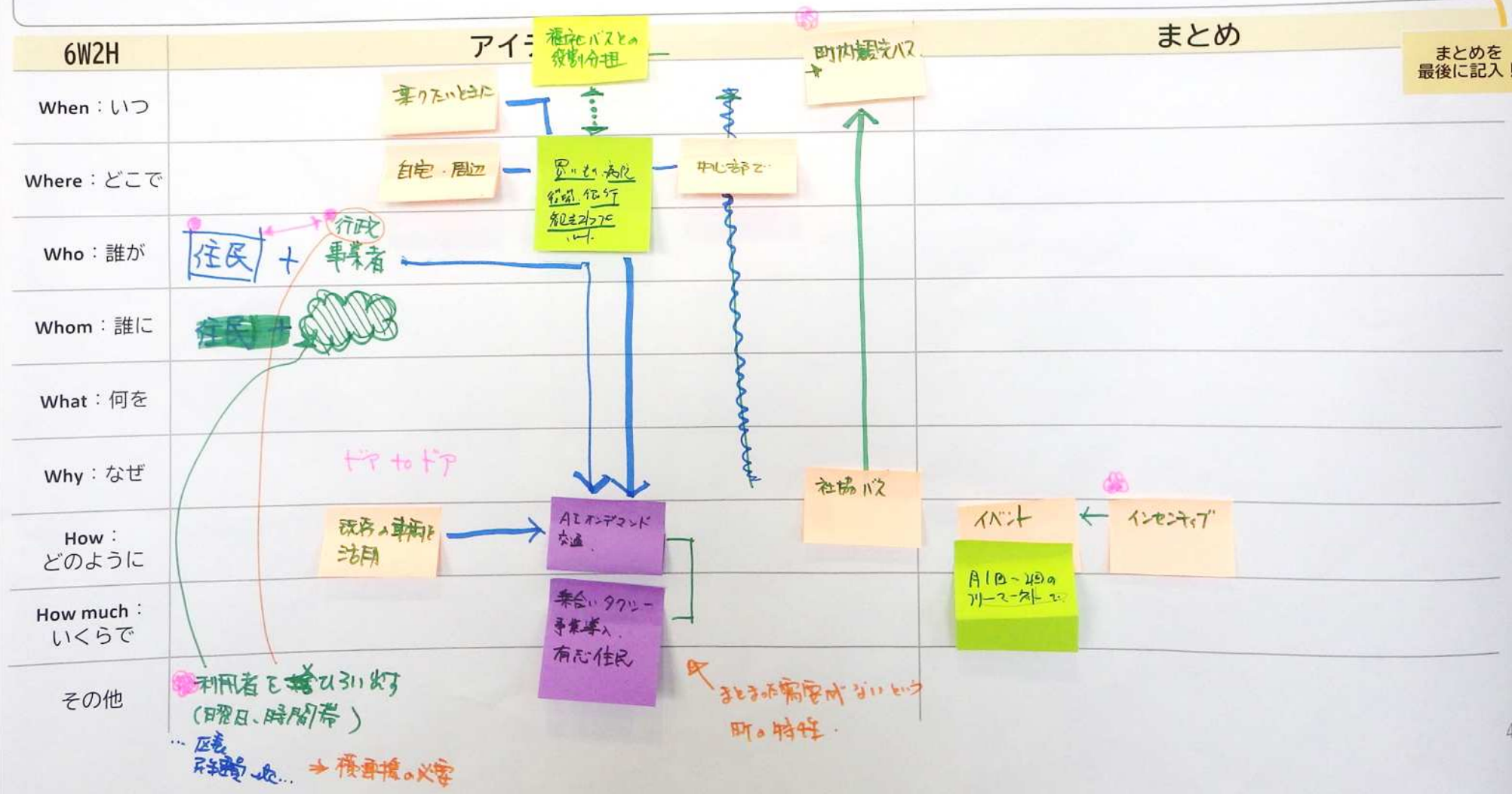


「わたしたち」が育てる公共交通



公共交通の収益性を高めるための取り組み
 →利用者を増やす

★事業概要



立山町版
依此切
4-2

★わたしたちの事業のタイトル

子どもたちに 鉄道を知ってもらおう！

イチオシの事業

★事業概要

6W2H	アイデア			まとめ
When: いつ	10月14日 (鉄道の日)			土日、鉄道の日
Where: どこで	桶町駅 南宮山駅 城川原駅 (桶町駅) 五百石駅 最寄り駅			
Who: 誰が	事業者 企画 学校 自治体(町) 自治会(町内) PR			企画: 事業者 + 参加団体 PR: 学校 自治体 自治会 多様な 団体
Whom: 誰に	学生 小・中・高・大 国見 沿線住民者 利用者			
What: 何を	運転体験 施設見学 秋境ツアー 運転士になる ための 検査体験 旧施設への 訪問 昔の駅に 乗って行く ヘッドマークの デザイン体験 公共交通の 乗り方講座 授業			興味を持ってもらう
Why: なぜ	興味を もってもらいたい			
How: どのように				
How much: いくらで				
その他				

まとめを
最後に記入!

親子でおでかけ事業の実施について

1 目 的

富山県内の小学校・特別支援学校の児童を対象に、公共交通の「無料乗車きっぷ」を配布し公共交通機関を利用する機会を提供することにより、児童期から公共交通の魅力を学び、将来、自動車だけでなく公共交通機関も選択する意識を醸成し、もって公共交通の利用促進につなげることを目的とする。

2 実施内容

- (1) 期 間 令和7年7月19日（土）から8月31日（日）まで
- (2) 対象者 富山県内の小学校・特別支援学校の児童
- (3) 主 催 県内 15 市町村
- (4) 共 催 富山地方鉄道株式会社、あいの風とやま鉄道株式会社、加越能バス株式会社、万葉線株式会社、株式会社富山市民プラザ

3 過年度実績

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
全 体	6,349 人	2,084 人	2,675 人	6,824 人	5,268 人	7,873 人
立山町	182 人	47 人	86 人	183 人	176 人	266 人

4 その他

今年度は、本イベントのタイアップ企画として、立山町営バスへの効果波及を目的とした「おでかけきっぷ」利用者への「特製缶バッジ」配付事業を実施。



バスの日記念イベント「バスの乗り方教室」の開催について

1 目 的

バスの日である9月20日の記念イベントとして、町内の保育園児（年長）に、バスの乗降方法、乗車マナー・ルール等のバスの正しい乗り方等を楽しく学んでいただくことにより、バスを身近なものとして認識いただくとともに、バスの利用の促進につなげることを目的とする。

2 概 要

- (1) 日 時 令和7年10月7日（火） 10時15分から11時15分まで
- (2) 主 催 公益社団法人富山県バス協会
- (3) 共 催 富山地方鉄道株式会社
- (4) 対象者 みどりの森保育園に通う年長児 26人
- (5) 内 容 挨拶、バスの乗り方説明、乗降車体験、記念撮影等

3 昨年度の様子



4 その他

本取組は、公益社団法人富山県バス協会が通算2回目として昨年度に引き続き行うものであり、本町では初となる取組です。